

# 報 告 書

開催日時	平成26年5月12日（月）午後7時～8時40分	
開催場所	米崎自然環境活用センター	
出席議員	挨拶	菅原悟班長（総務常任委員会委員長）
	司会進行	菅野 稔
	報告者	佐竹 強
	記録者	藤倉泰治
	議員	千田勝治（欠席：小松眞）
参加人数	11名	
主な要望 ・ 提言等	<p>○予算規模のことは説明があったが、予算額の推移はどうか。</p> <p>○議会の定例会は広報やホームページでは載るが、その他にも市の広報媒体として何かに載せてほしい。</p> <p>○議会の傍聴など、知らせてもらえば行く人もいると思う。</p> <p>○議事録について、まだ3月議会の分はHPに載っていない。請願なども（結果が）載っていれば次にはやりやすい。議事録1ヶ月くらいでできないのか。</p> <p>○FM等の音声ファイルの形なども考えてほしい。</p> <p>○高田、今泉地区の区画整理審議委員の立候補の受付をしているが、借地をしていた人にその連絡が行っていない。借地権を申請していない人が多いと思う。市でも借地権の申請を働きかけるべきではないのか。</p> <p>○予算の関係で、自主財源や今後の借金のことが心配だが、どのようになっているのか。</p> <p>○アップロードの延伸について、進捗状況はどうか。新しい家も建っているが、今後の見通しはどうか。</p> <p>○市の大震災検証報告書について、その後はどうなるのか。その内容についてどのように練り直すのか。</p> <p>○議会ではどのように考えているのか。議員はどのように検証を一人ひとり思っているのか。</p> <p>○子どもの在籍数、年齢別の人口の状況はどうか。</p> <p>○人口流出、2040年の予想が報道されているが、どうとらえているのか。</p> <p>○今は、人口流出に歯止めをかめることが重要であり、市とも連携して</p>	

現実的に何をやるのかを示すべきではないか。

- グランパは25人の雇用というが、補助金でやっている。農業の活性化になっていくと思うか。
- 農業で若い人育てているのか。実際に従事している若い人いるのか。
- 農業をやる人、よそからきてもらうという考えはないのか。
- イオンと共存共栄になっていない。区画整理地に新商店街というが、イオンと共存しないと思う。それでいいのか。
- 市長は出かけて行って企業を引っ張ってくることはないのか。
- これでは企業誘致を期待できない。議会としてはわからないととらえているのか。
- 農業の担い手のことで、産直で一番売れるのはリンゴ。リンゴで一番大切なのは担い手がないこと。そのリンゴで担い手をつくれないうでは、農業で担い手づくりは無理ではないか。
- 担い手をつくりこと誰もやっていない。神奈川の高校生で農業をやりたくて被災地に見学に来た高校生もいた。関東の方の高校や岩手県の農業大学校へ広く働きかけて担い手づくりをできないのか。議員の人の頭の中に入れてもらいたい。
- 農産物をつくる人いないとお菓子や加工品もつけれない。
- 担い手に力を入れてほしい。全国から地元の加工品の話がきている。しかし、つくる人がいない。よそから担い手として連れてくることも考えるべき。そして、地元の子どもたちが刺激を受けることもあるのではないか。
- 大規模化も進められているが、できなくなった農家を集約していいのか。
- 米崎のリンゴ。販路のこともあって6次化の可能性もあるが、耕地が少ない。生産量が少ないところにもっとというが無理と思う。イオン進出で農地をつぶすのか。本市の限られた耕地のなかでもっと農地が必要ではないか。基幹産業としてもっと重視すべきではないか。
- コンパクトシティは商店街やまちづくりだけではないと思う。陸前高田市にはいいものがあるので、それを生かした農業をすすめるべき。
- 企業誘致はどうか。陸前高田で支店を出すような話はないのか。
- 基幹産業について、一次産業をどうつくっていくのか伝わってこない。
- 人口の流出どう止めるのか。1次産業の6次化というが、今の量で充分だ。60歳70歳でやっている。希望がない。もっとしっかり取り組んでいかないと。
- 箱根山に何か企業の施設をつくっているようだが、独占利益にならな

いように、協調してやってほしい。

- 米崎リンゴは固定客だ。残念ながら。何とか行政でも農家と一緒に考えていかないと。
- 長野県の川上村では一人2800万円の収入になっている。そのように農業をもっていくべきだ。それができないなら議員は7人でいい。
- 陸前高田市には民間の力があると思うから、個人ががんばって、市として動いていかないと。
- 「まるごと協議会」という団体ができたが、議員は知っているのか。そういうことを知らない状況では……。議員は市の一角に入っていて、議員がこういう地域の動きを知らないでいる。協会も動き始めている。
- 交流人口がどうなっているか、雇用がどうなっているか、議員が分からないようでは……。
- 医療や介護の仕事だけではなく……。市の人口はいったい何人になっているのか。籍を置いても実際にはいない人もいる。
- 出ていく人をおさえるようなことをやらないと。
- 時給は今800円ライン。最低賃金ラインだ。イオンは900円で働けということだが酷な話だ。
- 介護や医療施設はあっても、働きたい人いない。この地域は脆弱だ。安い賃金でしか生活できない。何とかして考えていかないと。
- 介護の職場は労働条件が悪い。腰を痛めたりしている。
- 働けるのも、介護の資格を持った人だけ。
- 高校生を何人とするのか。
- 若い人の働ける場が問題だ。介護だけではなく、市民レベルで話し合ってもらえば。同じ感覚になって考えること必要。
- 企業誘致の今の現状はどうか。
- 基本として介護だけではなく、耕地を広げる考えはないのか。漁業でやれるなら、システムをつくってやらないと。行政、市役所がつくらないと。普通のまちとは違うまちを。派手なことやらないと。盛り土しても誰か買い物に行かないと。
- 商工会だけにまかせているのか。こんな狭いまちなのだから、もっと広く。
- 商売の人たち何人やめたのか。
- 2割の人で商店街を背負っていくのか。
- イオン、なぜ農地潰してまでやるのか。(議員に答弁しろと責めているのではない)
- 基幹産業というなら、果樹園のそばに住宅が建てば、スプレーヤーな

	<p>どできない。浜田川もう整理できないではないか。あちこちに家がたつてしまつて。今からでも整備してほしい。気仙沼があつて大船渡があつて陸前高田は大事なまち。陸前高田だけというのではなく。県をまたいでやっていかないと。陸前高田はすばらしいところだ。</p> <p>○公営住宅何階建てのようだが、戸建てでできないか、要望したい。</p> <p>○相馬市では戸建ても・・・。</p> <p>○今の仮設住宅の人、3階4階に住めない。今の仮設のままでいいよという人もいる。</p> <p>○脇ノ沢団地は130戸から70戸になった。その原因は。</p> <p>○下和野公営住宅が建つようだが、地盤は大丈夫か。8階で火災が起きたらはしご車の予算あるのか。</p> <p>○今の高台開発は乱開発に近い。ここは農業団地、ここは住宅団地とそれぞれ線引きすべきではないか。今のままでは無法地帯のようだ。規制をかけないとだめではないか。</p> <p>○12.5メートルの防潮堤の合意はできたのか。あんなに高い防潮堤は必要がないという声も多い。市民の意見はどのようにみているのか。</p> <p>○議員一人ひとりの考えは言えないのか。</p>
<p>所 感</p>	<p><b>【菅原 悟】</b></p> <p>教育委員会による東中学校造成工事説明会と重なつたためか、一般の参加が僅かであった。また、従来より居住している方の参加者が皆無であり懇談会の開催方法を検討すべきと感じた。</p> <p><b>【菅野 稔】</b></p> <p>中心市街地の形成とイオンショッピングセンターとの整合性米崎りんごの販路拡充や担い手問題 2040年の人口減少やアップルロードの延伸についてや懇談会前に議事録作成していただくと懇談会に望めるのにとつた事等が発言されましたが、昨年1月の懇談会には39名の市民の方が参加したが今回5名と少なく懇談会のあり方を考えさせられます。</p> <p><b>【佐竹 強】</b></p> <p>残念ながら参加者が少なかった。参加者の中には会場に入る時点から何らかの意思を持っていると思われるようなそぶりを見せていた方もいた。はたして、発言内容は国家的見地に立って解決すべきレベルの問題を市議会議員が何とかすべきとの要望や、明らかに議会を困らせることを意図したと思われる発言が続き、困惑した。</p> <p>議会報告会の本来の目的を市民に対し改めて周知せしめ、報告会の進行についても慎重に研究する必要があると感じた。</p>

成り行きに任せた報告会では場合によっては眉をひそめる参加者が次回以降の参加意欲を無くす可能性があり、議会報告会を根本から考え直す必要も出てくるかもしれない。

**【千田勝治】**

本市の基幹産業である農業振興にあたり参加者の方々の農業に対する熱い思いを強く感じた。また、雇用の場の確保対策も本市の将来に不可欠な課題であり、農地の転用問題の整合性のむずかしさを感じさせられた。

**【藤倉泰治】**

農業の担い手対策について、陸前高田市の豊かな資源を生かした産業振興の進むべき方向での意見、提言や要望があった。市で進めている農林漁業の施策と合わせて他にはない産業振興の重要性、可能性を感じた。

人口減少を心配する声があった。地元での仕事や子育て、介護など陸前高田の独自の施策や魅力について、さらに考えていくべきと思った。

議会広聴広報特別委員会

広聴小委員長 松田 信之 殿

平成26年6月6日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成26年度議会報告会 1班

班 長 菅原 悟 ⑩